

一内水研通信一

第 23 号

令和 8 年 8 月

千葉県水産総合研究センター
内水面水産研究所

〒285-0866 佐倉市臼井台 1390

TEL 043-461-2288

千葉県農林水産技術会議

千葉県のアオノリ養殖

千葉県の九十九里・外房に位置する南白亀川、一宮川、夷隅川では、アオノリ（スジアオノリ）養殖が行われており、当所でもアオノリ漁場の水温・塩分などの環境調査や陸上採苗試験により支援、研究を行っています。

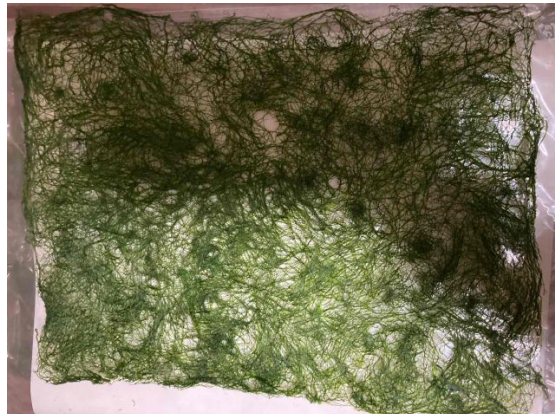
令和 7 年度は、一宮川の一松内水面漁場において 24,000 枚の生産がありました。令和 4 年度 4,000 枚、令和 5 年度 12,000 枚、令和 6 年度 0 枚の生産であったことから、直近 3 年間と比較すると最も生産量が多い年度となりました。その要因としては、10-11 月の降雨が少なかったことから漁場が低塩分化することなく、漁場環境が安定していたことが考えられます。

また、南白亀川においては、陸上採苗（陸上において人工的にアオノリの遊走子をノリ網に付着させた後にノリ網を漁場に展開する方法）を導入しており、前年を上回る生産が確認されました。

天候が大きな要因として生産を左右する現状ですが、少しでも生産の安定化に繋がるように陸上採苗の導入を進めていきたいと考えています。



収穫されたアオノリの様子



製品化されたアオノリ

アオノリ養殖豆知識

アオノリ（スジアオノリ）の全国的産地は、高知県（四万十川）、徳島県（吉野川）及び山口県（栗野川）です。千葉県内では、江戸末期からアオノリ養殖が始まり、夷隅、長生及び山武地域を中心に正月用品（お雑煮に火で炙ったアオノリを入れる）として欠かせない食材となっています。

第46回全国豊かな海づくり大会～ふさの国千波^{ちばけん}県大会～

「大会記念リレー放流」を実施

令和9年11月に、第46回全国豊かな海づくり大会～ふさの国千波^{ちばけん}県大会～が開催されます。県では、大会の開催に向けて県内各地で稚魚の放流を行う「大会記念リレー放流」を実施しています。

内水面では、令和8年4月23日にアユ釣りで有名な養老川の大国橋において、養老川漁業協同組合の皆さんのご協力のもとアユ稚魚500尾を放流しました。

参加したのは、加茂学園の小学1・2年生の皆さんです。魚に触ったことのない生徒も多く、アユ特有の色彩やスイカの匂いに感嘆の声が聞かれました。また、放流したアユが元気よく川へと泳ぎ出す姿に満足そうな笑顔を見せていました。



アユ稚魚の放流の様子



放流を手伝った漁業者へ感謝の挨拶

韓国慶尚南道の水産関係者が内水研を視察見学

令和8年6月10日、韓国自律管理漁業昌原特例市連合会の視察団28名が当所の視察見学に来訪されました。当該連合会は、漁業者の自主的な資源管理と持続可能な漁業活動を促進するために設立された団体です。

視察に際し、当所から千葉県の内水面漁業の状況や現在実施している研究内容の概要を説明するとともに展示室とアユの親魚養成施設を見学してもらいました。

視察団の皆さんからは、内水面に関する資源管理や養殖について、積極的な質問が交わされました。また、アユの親魚養成の現場が初めての方も多く、熱心に観察されていました。日韓の交流を深める機会として有意義な時間だったと思います。



研究員の説明に傾聴する視察団の方々